

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	一般臨床医学		学科名	作業療法学科	講師名	河本 敦史
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		臨床医学の概要を学び、臨床に応用する力を得る。作業療法士国家試験において、医学分野の問題傾向を知り、学修すること。				
授業全体の内容の概要		整形外科など今までに学んだ医学以外の分野やより細分化された診療科の医学分野について学習する。それら基礎医学に関連した国家試験対策を実施する。また、学習の方法についても学ぶ機会を得る。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		臨床医学の概要を知り、臨床場面や国家試験において対応可能な資質を得る				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション。消化器、消化器解説			
	2	講義	消化器。自主学習含む。			
	3	講義	循環器。循環器解説。			
	4	講義	循環器。自主学習含む。			
	5	講義	呼吸器、呼吸器解説。			
	6	講義	呼吸器。自主学習含む。			
	7	講義	腫瘍。腫瘍解説。			
	8	講義	腫瘍。自主学習含む。			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		資料は適宜配布します				
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、学生の理解を徹底する。成績評価は、期末試験をもって判定する。期末テストは、筆記テストを実施する。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎作業学			学科名	作業療法学科	講師名	梶原 宣志
時間数	60時間					実務経験の有無	作業療法士として生活期医療機関等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次 3 年次			前期 後期 通期		
目的・ねらい		作業療法の歴史や特性について学び、理解を深める。					
授業全体の 内容の概要		作業療法士の根幹である作業とは何かを学問的、生活的に理解し、人との関わりと体と心のつながりを考えていく。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		作業の効果について座学や演習等により具体的な体験を通じて作業を用いる評価の視点と、作業を選択し用いることができる技を身につける。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	作業とは何か				
	2	講義	「ひととくらし」の視点による分類				
	3	講義	作業療法の歴史①				
	4	講義	作業療法の歴史②				
	5	講義	生活行為と作業①				
	6	講義	生活行為と作業②				
	7	講義	からだと作業活動①				
	8	講義	からだと作業活動②				
	9	講義	こころと作業活動①				
	10	講義	こころと作業活動②				
	11	講義	作業活動の特性①				
	12	講義	作業活動の特性②				
	13	講義	作業と生活機能①				
	14	講義	作業と生活機能②				
	15	講義	包括的作業分析①				
	16	講義	包括的作業分析②				
	17	講義	作業遂行①				
	18	講義	作業遂行②				
	19	講義	作業療法理論・モデル①				
	20	講義	作業療法理論・モデル②				
	21	講義	作業の利用、集団と場①				

指導計画	22	講義	作業の利用、集団と場②
	23	講義	分析の視点①
	24	講義	分析の視点②
	25	講義	限定的作業分析①
	26	講義	限定的作業分析②
	27	講義	メタ認知と社会脳①
	28	講義	メタ認知と社会脳②
	29	講義	作業療法に必要な観察眼①
	30	講義	作業療法に必要な観察眼②
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			ひとと作業・作業活動 その他、適宜資料を配布します。
評価方法			成績は終講試験（100点満点）において、60点以上取得できた場合に単位取得となります。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	健康増進論 (栄養学を含む)		学科名	作業療法学科	講師名	大瀬戸 亮平	
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期の高齢者施設にて実務経験あり	
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		高齢者の健康寿命を理解し、知識を深める					
授業全体の 内容の概要		健康増進や栄養評価、各症状に対する運動アプローチなどの演習を実施					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		ヘルスプロモーションを理解し、実習先で実践ができる					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	健康増進、ヘルスプロモーションとは				
	2	講義	健康増進の重要性：高齢者、若年者				
	3	講義	健康増進の展開：地域、行政との連携				
	4	講義	栄養学の基本				
	5	講義	最新の栄養学について				
	6	講義	栄養素の働き				
	7	講義	症状別・栄養素の取り方				
	8	講義	食品の栄養成分と作用				
	9	演習	ヘルスプロモーションの実践Ⅰ【虚弱予防】				
	10	演習	ヘルスプロモーションの実践Ⅱ【転倒予防】				
	11	演習	ヘルスプロモーションの実践Ⅲ【認知症予防】				
	12	演習	ヘルスプロモーションの実践Ⅳ【生活習慣予防・改善】				
	13	演習	要介護高齢者のヘルスプロモーション				
	14	演習	ヘルスプロモーションのための福祉用具【演習】				
	15	演習	ヘルスプロモーションのための福祉用具【演習】				
		原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。					
テキスト・参考図書等		きちんとわかる栄養学 西東社 理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション (南江堂)					
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると単位認定がなされない。成績評価は、試験、出席状況、受講態度をもって判定する。試験は、筆記テストを実施する。試験は4割、そして出席状況および受講態度は合算し6割として成績判定する					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業学実習Ⅱ			学科名	作業療法学科	講師名	溝畑 美香
時間数	45時間					実務経験の有無	作業療法士として精神科病院・高齢者総合福祉施設にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次		前期	後期 通期
目的・ねらい		実際に現場で行われる作業療法について、総合的に学習する。					
授業全体の内容の概要		集団プログラムの企画運営を行うことで対象者への効果を確認し学びを得る。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		臨床実習に向けて、臨床現場で求められる社会人、医療人、支援者としての姿勢や対応力を学ぶ。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	演習	オリエンテーション				
	2	演習	作業分析「道具を知る」（グループワーク）				
	3	演習	作業分析「道具を知る」（まとめ資料作成）				
	4	演習	作業分析「道具を知る」（まとめ資料作成）				
	5	演習	作業分析「道具を知る」（まとめ資料作成）				
	6	演習	作業分析「道具を知る」（発表）				
	7	演習	作業分析「道具を知る」（発表）				
	8	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、種目）				
	9	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、目的）				
	10	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、スタッフの動き）				
	11	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、ルール）				
	12	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、全体の流れ）				
	13	演習	OT集団プログラムの企画運営について（グループワーク、リスク管理）				
	14	演習	OT集団プログラム（発表①）				
	15	演習	OT集団プログラム（発表②）				
	16	演習	OT集団プログラム（発表③）				
	17	演習	OT集団プログラム（発表④）				
	18	演習	ストレングスモデルとは				
	19	演習	ストレングスモデル（グループワーク）				
	20	演習	ストレングスモデル（まとめ）				
	21	演習	ストレングスモデル（発表）				
	22	講演	薬物乱用防止特別講演会				
	23	講演	薬物乱用防止特別講演会				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		必要に応じて資料を配布します。 内容は進行状況等により変更する場合があります。					
評価方法		レポートで総合的に評価する					

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法画像評価学		学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院、回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次		前期 後期 通期		
目的・ねらい		作業療法士として必要な、種々の疾患や外傷の画像の基礎知識の知識を深める				
授業全体の内容の概要		教科書に記載された内容をもとに、一部別紙資料を併用しながら、講義を中心に展開していく。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		作業療法士として必要な種々の疾患や外傷の画像の基礎知識について理解でき、臨床場面において活用することができる				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション/総論/正常解剖			
	2	講義	正常解剖/中枢神経疾患			
	3	講義	正常解剖/中枢神経疾患			
	4	講義	正常解剖/中枢神経疾患			
	5	講義	正常解剖/運動器疾患			
	6	講義	正常解剖/運動器疾患			
	7	講義	正常解剖/呼吸器・循環器系疾患			
	8	講義	正常解剖/呼吸器・循環器系疾患			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		画像評価学 医学書院				
評価方法		成績は、終講試験（100点満点）において、60点以上取得できた場合に単位取得となります。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法学演習Ⅰ (身体障害)		学科名	作業療法学科	講師名	鶴田 怜子
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として回復期の医療施設にて実務経験あり
学年・学期配当	1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい	身体障害領域における具体的治療理論およびアプローチについて学ぶ					
授業全体の 内容の概要	臨床実習に向けて、身体障害領域における基本的な評価技法それらに付随するアプローチについて実践する					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)	身体障害領域における作業療法場面において、適切な評価・アプローチを実践できる					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義/演習	筋力検査①			
	2	講義/演習	筋力検査②			
	3	演習	握力、ピンチ力測定①			
	4	演習	握力、ピンチ力測定②			
	5	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(上肢の筋)①			
	6	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(上肢の筋)②			
	7	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(上肢の筋)③			
	8	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(下肢の筋)①			
	9	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(下肢の筋)②			
	10	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(下肢の筋)③			
	11	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(体幹の筋)①			
	12	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(体幹の筋)②			
	13	演習	評価の基本と技術(MMT実技)(体幹の筋)①			
	14	演習	評価の基本と技術(MMT実技)まとめ			
	15	演習	評価の基本と技術(MMT実技)まとめ			
	16	演習	身体機能評価法(脳血管障害、頭部外傷)ブルンストローム回復ステージ(BRS)①			
	17	演習	身体機能評価法(脳血管障害、頭部外傷)ブルンストローム回復ステージ(BRS)②			
	18	演習	身体機能評価法(脳血管障害、頭部外傷)Fugl-Meyer Assessment(FMA)			
	19	演習	身体機能評価法(脳血管障害、頭部外傷)脳卒中機能障害評価法(SIAS)			
	20	演習	身体機能評価法(高次脳機能評価法)WAIS-Ⅳ①			
	21	演習	身体機能評価法(高次脳機能評価法)WAIS-Ⅳ②			

指導計画	22	演習	身体機能評価法（高次脳機能評価法）WAIS-IV③
	23	演習	身体機能評価法（高次脳機能評価法）TMT
	24	演習	身体機能評価法（高次脳機能評価法）CAT
	25	演習	身体機能評価法（高次脳機能評価法）BADs①
	26	演習	身体機能評価法（高次脳機能評価法）BADs②
	27	演習	身体機能評価法（関節リウマチおよびその類縁疾患）
	28	演習	身体機能評価法（関節リウマチおよびその類縁疾患）
	29	演習	身体機能評価法（神経・筋疾患、内部疾患）
	30	演習	まとめ
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			標準作業療法学：作業療法評価学【第3版】 身体機能作業療法学【第4版】 高次脳機能作業療法学【第2版】 臨床での検査精度を高める！MMT 適切な検査肢位の設定と代償運動の制御 日常生活活動（ADL）【第2版】
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失います。 成績評価は、試験をもって判定します。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法学演習Ⅱ (精神障害)		学科名	作業療法学科	講師名	岡 正敏
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当			1 年次	2 年次	3 年次	前期後期通期
目的・ねらい			作業に必要な道具に触れて、実際に機器・道具を使用する			
授業全体の 内容の概要			作業製作に取り組み、失敗・完成の喜びを知る。また、作業活動を通して治療手段としての作業活動の意味について学ぶ			
授業修了時の 達成課題 (到達目標)			作業活動が人間の心身にどのように影響するかを考察できる			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	革細工：道具の名称と正しい使い方			
	2	演習	革細工：しおり作り			
	3	演習	革細工：三つ折り財布			
	4	演習	革細工：三つ折り財布			
	5	演習	革細工：三つ折り財布			
	6	演習	革細工：ブローチ			
	7	演習	革細工：ブローチ			
	8	演習	革細工：ブローチ			
	9	演習	ネット手芸：小物入れ			
	10	演習	ネット手芸：小物入れ			
	11	演習	ネット手芸：小物入れ			
	12	演習	紙すき：方法と下準備			
	13	演習	紙すき：実践			
	14	演習	紙すき：実践			
	15	演習	紙すき：加工			
	16	演習	ケース① 問題点の抽出			
	17	演習	ケース① ゴール設定			
	18	演習	ケース① アプローチ検討			
	19	演習	ケース② 問題点の抽出			
	20	演習	ケース② ゴール設定			
	21	演習	ケース② アプローチ検討			

指導計画	22	演習	ケース③ 第一印象とケースノート
	23	演習	ケース③ 情報収集と観察
	24	演習	ケース③ 基礎的・医学的情報
	25	演習	ケース③ 作業療法評価
	26	演習	ケース③ 評価からのまとめ
	27	演習	ケース③ 全体像の把握
	28	演習	ケース③ 問題点の焦点化
	29	演習	ケース③ 目標設定
	30	演習	ケース③ 考察
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			精神障害と作業療法 新版 その他、適宜資料を配布します。
評価方法			終講試験の結果、授業への取り組み方など総合的に判断します。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法学演習Ⅲ (老年期・発達障害)		学科名	作業療法学科	講師名	二反田 はな子		
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として当該領域において生活期の施設で実務経験あり		
学年・学期配当			1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい			老年期および発達障害領域における具体的治療理論、アプローチについて学ぶ					
授業全体の 内容の概要			臨床実習に向けて、老年期・発達障害領域における基本的な評価技法およびそれらに付随するアプローチについて実践する					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)			老年期・発達障害領域における作業療法場面において、適切な評価・アプローチを実践できる					
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	オリエンテーション 発達障害作業療法学					
	2	演習	基本動作におけるサポート					
	3	演習	基本動作におけるサポート					
	4	演習	基本動作におけるサポート					
	5	演習	自助スプーン作成					
	6	演習	ビジョントレーニング・コグトレについて					
	7	演習	ビジョントレーニング・コグトレについて					
	8	演習	行動分析学について					
	9	演習	行動分析学について					
	10	演習	感覚統合について					
	11	演習	感覚統合について					
	12	演習	感覚統合について					
	13	演習	感覚統合について					
	14	演習	TEACCHプログラムについて					
	15	演習	TEACCHプログラムについて					
	16	演習	症例検討					
	17	演習	症例検討					
	18	演習	まとめ(発達領域)					
	19	演習	オリエンテーション 老年期障害作業療法学					
	20	演習	認知症のスクリーニング検査（HDS-R、MMSE）について					
	21	演習	認知症のスクリーニング検査（HDS-R、MMSE）について					

指導計画	22	演習	歩行分析と介助
	23	演習	歩行分析と介助
	24	演習	歩行分析と介助
	25	演習	ADL動作の評価と介助、訓練技法
	26	演習	ADL動作の評価と介助、訓練技法
	27	演習	ADL動作の評価と介助、訓練技法
	28	演習	症例検討
	29	演習	症例検討
	30	演習	まとめ(老年期領域)
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			適宜資料を配布します。
評価方法			終講試験の結果、授業への取り組み方など総合的に判断します。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法治療学Ⅰ (身体障害)		学科名	作業療法学科	講師名	河本 敦史
時間数	90時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等で実務経験あり
学年・学期配当	1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい	身体障害領域において、今まで培った疾患の知識や評価の技能に基づき、適切に作業療法を実践する能力を身につける。					
授業全体の内容の概要	作業療法の現場において、即応性のある事象によっては評価と介入が表裏一体である側面がある。その内容に関しては評価結果に基づく介入方法を学ぶ。また、理論に基づいて作業療法のプロセス（評価→目標立案→プログラム実施）を進めることを学ぶ。					
授業修了時の達成課題（到達目標）	評価に基づいた介入が可能。理論に基づいた作業療法実践が可能。総合臨床実習において、学んだ内容を活用することができる。					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	演習	オリエンテーション			
	2	講義・演習	意識障害、バイタルサイン、感覚障害への作業療法①			
	3	講義・演習	意識障害、バイタルサイン、感覚障害への作業療法②			
	4	講義・演習	姿勢反射検査、筋緊張検査に基づいた作業療法①			
	5	講義・演習	姿勢反射検査、筋緊張検査に基づいた作業療法②			
	6	講義	協調性検査、QOLの評価と介入①			
	7	演習	協調性検査、QOLの評価と介入②			
	8	講義	脊髄損傷者への作業療法①			
	9	講義	脊髄損傷者への作業療法②			
	10	演習	脊髄損傷者への作業療法③			
	11	講義	上肢末梢神経損傷者への作業療法①			
	12	演習	上肢末梢神経損傷者への作業療法②			
	13	講義	内部疾患、腱損傷者への作業療法①			
	14	演習	内部疾患、腱損傷者への作業療法②			
	15	講義	まとめ、学習内容の振り返り			
	16	講義	ICFについて①			
	17	講義	ICFについて②			
	18	演習	ICFの活用方法①			
	19	演習	ICFの活用方法②			
	20	講義	COPM①			
	21	講義・演習	COPM②			

指導計画	22	演習	COPM③
	23	演習	COPM④, 中間テスト
	24	講義	AMPS①
	25	講義・演習	AMPS②
	26	演習	AMPS③
	27	演習	AMPS④
	28	講義	生活行為向上マネジメント①
	29	講義	生活行為向上マネジメント②
	30	講義	生活行為向上マネジメント③
	31	演習	生活行為向上マネジメント④
	32	演習	生活行為向上マネジメント⑤
	33	演習	生活行為向上マネジメント⑥
	34	講義	OTIPM①
	35	講義	OTIPM②
	36	演習	OTIPM③
	37	演習	OTIPM④
	38	演習	OTIPM⑤
	39	演習	OTIPM⑥
	40	講義・演習	事例報告の書き方①
	41	講義・演習	事例報告の書き方②
	42	演習	事例報告の書き方③
	43	演習	事例報告の書き方④
	44	演習	事例報告の書き方⑤
	45	演習	事例報告の書き方⑥
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			標準作業療法学：作業療法評価学【第3版】、身体機能作業療法学【第3版】 OT I P M (Occupational Therapy Intervention Process Model) 作業療法介入プロセスモデル 事例で学ぶ生活行為向上マネジメントマネジメント COPM・AMPSスターティングガイド 日常生活活動（ADL）【第2版】
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失う。成績評価は、中間テスト、終講試験をもって判定する。 中間、終講試験が60点以上を合格とする。 尚、授業内容など、予定を変更する場合がある。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法治療学Ⅱ (精神障害)		学科名	作業療法学科	講師名	岡 正敏
時間数	90時間				実務経験の有無	作業療法士として回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当			1年次	2年次	3年次	前期後期通期
目的・ねらい			作業療法の対象となる精神障害の概要や、それらに対する援助の基本を理解する。			
授業全体の 内容の概要			精神障害について、人の健康状態を個人の心身の状態、日常生活活動の状態と制限、社会参加の状態と制限、それらとの個人因子や環境因子との相互作用から捉える障害構造論と回復段階に応じたトータルリハビリテーションという立場から、精神の病いとそれに伴う生活障害およびそれらに対する援助の基本を学ぶ。			
授業修了時の 達成課題 (到達目標)			精神障害を抱える対象者に対する、疾患別アプローチについて説明、実践できるようになる。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション			
	2	講義	精神科医療の歴史と現状			
	3	講義	精神分析療法 防衛機制			
	4	講義	精神科作業療法と集団			
	5	講義	生活技能訓練法と認知行動療法			
	6	講義	精神障害とICF①			
	7	講義	精神障害とICF②			
	8	講義	治療構造①			
	9	講義	治療構造②			
	10	講義	精神科作業療法の種類			
	11	講義	疾患別作業療法 全般			
	12	講義	疾患別作業療法 依存症			
	13	講義	疾患別作業療法 統合失調症①			
	14	講義	疾患別作業療法 統合失調症②			
	15	講義	疾患別作業療法 統合失調症③			
	16	講義	疾患別作業療法 気分（感情）障害①			
	17	講義	疾患別作業療法 気分（感情）障害②			
	18	講義	疾患別作業療法 気分（感情）障害③			
	19	講義	疾患別作業療法 神経症性障害、ストレス関係障害			
	20	講義	疾患別作業療法 生理的障害			
	21	講義	疾患別作業療法 人格障害①			

指導計画	22	講義	疾患別作業療法 人格障害②
	23	講義	疾患別作業療法 人格障害③
	24	講義	疾患別作業療法 知的障害
	25	講義	疾患別作業療法 発達障害
	26	講義	疾患別作業療法 注意欠如・多動性障害・学習障害
	27	講義	疾患別作業療法 てんかん①
	28	講義	疾患別作業療法 てんかん②
	29	講義	疾患別作業療法 認知症①
	30	講義	疾患別作業療法 認知症②
	31	講義	疾患別作業療法 認知症③
	32	講義	関連法制度 ①
	33	講義	関連法制度 ②
	34	講義	薬物療法 ①
	35	講義	薬物療法 ②
	36	講義	薬物療法 ③
	37	講義	高次脳機能障害 ①
	38	講義	高次脳機能障害 ②
	39	講義	高次脳機能障害 ③
	40	演習	症例検討 グループワーク
	41	演習	症例検討 グループワーク
	42	演習	症例検討 グループワーク
	43	演習	PCを用いてのレポート作成
	44	演習	PCを用いてのレポート作成
	45	演習	PCを用いてのレポート作成
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			精神疾患の理解と精神障害作業療法 第3版
評価方法			終講試験の結果に加え、授業への取り組み方、提出物の期限遵守、レポートの内容などで総合的に判断する

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法治療学Ⅲ (老年期)		学科名	作業療法学科	講師名	河本敦史
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当			1年次 2年次 3年次		前期 後期 通期	
目的・ねらい			老年期の人口動態、病態、生活や制度等を知り、作業療法の実践に応用することが可能になること。			
授業全体の 内容の概要			老年期の特徴をしり、高齢者が全人的復権を果たすための作業療法の役割を教授する。			
授業修了時の 達成課題 (到達目標)			老年期の生活、作業療法で注意すべき疾患、制度、作業療法の特徴や介入方法について言及することができる。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	老年期の生活1			
	2	講義	老年期の生活2			
	3	講義	老年期の生活3			
	4	講義	老年期作業療法で注意すべき疾患とリスク1			
	5	講義	老年期作業療法で注意すべき疾患とリスク2			
	6	講義	老年期作業療法で注意すべき疾患とリスク3			
	7	講義	制度と作業療法提供施設1			
	8	講義	制度と作業療法提供施設2、3			
	9	講義	制度と作業療法提供施設3、4			
	10	講義	老年期作業療法の特徴1、2			
	11	講義	老年期作業療法の特徴3、4			
	12	講義	老年期作業療法の特徴5			
	13	講義	作業療法による介入1、2			
	14	講義	作業療法による介入3、4			
	15	講義	作業療法による介入5、6、7			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 老年期作業療法学			
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、学生の理解を徹底する。成績評価は、期末試験をもって判定する。期末テストは、筆記テストを実施する。			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法治療学Ⅳ (発達障害)		学科名	作業療法学科	講師名	二反田 はな子
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として福祉施設事業所にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		小児・発達障害領域における作業療法の対象疾患別の治療方法と介入ポイントについて理解する。				
授業全体の 内容の概要		小児・発達障害領域における作業療法の対象疾患について理解を深める。また、各対象疾患における具体的な治療目標や介入方法とその考え方について概説する。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		1. 各対象疾患の特徴について理解する 2. 作業療法の目標、具体的な介入方法について計画できる				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション			
	2	講義	発達障害領域の作業療法			
	3	講義	1章1-2 子どもの発達と作業療法			
	4	講義	1章3-4 子どもの発達と作業療法			
	5	講義	1章5-7 子どもの発達と作業療法			
	6	講義	2章1 評価			
	7	講義	2章2 評価			
	8	講義	2章3-4 評価			
	9	講義	3章1-3 治療的アプローチ：発達の各領域に対するアプローチ			
	10	講義	3章4-6 治療的アプローチ：発達の各領域に対するアプローチ			
	11	講義	3章7-9 治療的アプローチ：発達の各領域に対するアプローチ			
	12	講義	4章1 家族、地域を含めた支援			
	13	講義	4章2 家族、地域を含めた支援			
	14	講義	4章3-4 家族、地域を含めた支援			
	15	講義	まとめ			
		原則、筆記試験の実施 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		作業療法学ゴールドマスターテキスト第3版発達障害作業療法学：メジカルビュー社				
評価方法		試験90% 出席・授業態度10%				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法治療学Ⅴ (義肢・装具学)		学科名	作業療法学科	講師名	平田慎太郎 (PO) 河本敦史、溝畑美香
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期および精神科病院等、技師装具士として急性期病院等で実務経験あり
学年・学期配当	1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい	義肢装具に関する基礎的知識と適合判定について学習する。作業療法の評価やプログラム実施の流れ（導入面接や良好なコミュニケーション、移乗や移動など）等を含めてポイントを学ぶ					
授業全体の内容の概要	義肢装具の名称と適応する疾患を学ぶ。義肢装具の基本的構造を理解する。実際にスプリントを各自で製作する。模擬症例を通して、作業療法への導入や評価の際の注意点やコミュニケーションを学ぶ。					
授業修了時の達成課題（到達目標）	作業療法場で義肢装具を必要とされる方への基本的支援や義肢装具の適応を理解する。臨床実習に向けて各評価や移乗や介助などの知識を習得し、症例を担当する能力が身についている。。					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	義肢装具の基礎知識			
	2	講義	義肢装具の基礎知識			
	3	講義	装具総論，脳卒中片麻痺の装具			
	4	講義	整形外科治療装具			
	5	講義	整形外科治療装具			
	6	講義	脊髄損傷，関節リウマチの装具			
	7	講義	末梢神経障害，小児の装具			
	8	演習	切断			
	9	演習	義肢総論，大腿義足			
	10	演習	下腿義足			
	11	演習	義手			
	12	演習	そのほかの補装具，福祉用具（車いす）			
	13	演習	そのほかの補装具，福祉用具（座位保持装置，歩行補助具）			
	14	演習	そのほかの補装具，福祉用具（移乗用具，自立生活支援用具，ECS）			
	15	講義	まとめ			
	16	講義	ポジショニングについて			
	17	講義	移乗，歩行について			
	18	講義	移乗，歩行について			
	19	演習	作業療法導入面接の復習，実践			
	20	演習	作業療法導入面接の復習，実践			
	21	講義	事例報告2 一般情報，評価			

指導計画	22	講義	作業療法評価場面での大事なポイント
	23	講義	作業療法評価場面での大事なポイント
	24	演習	事例報告2 評価
	25	演習	事例報告2 問題点/利点, 目標, プログラム立案
	26	講義	事例報告2 結果, 考察
	27	講義	作業療法評価場面での大事なポイント (接遇, 対象者, 指導者や他職種に対する態度)
	28	講義	作業療法評価場面での大事なポイント (面接)
	29	講義	作業療法評価場面での大事なポイント (観察)
	30	講義	作業療法評価場面での大事なポイント (検査)
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			資料（教科書は特になし）
評価方法			義肢装具学の講義については、試験の得点により評価する。60点に満たない場合、再試験を行うこととする。 その他の講義については、レポートにより評価する。基準に満たない場合は再提出とする。 最終的な評価は試験とレポートを併せて実施する。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法実習Ⅰ			学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一 山本 剛裕
時間数	45時間					実務経験の有無	作業療法士として、急性期病院および重度認知症患者デイクアにて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次	2 年次	3 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		作業療法実践にあたり必要となる高次脳機能障害の評価について、演習形式で学び作業療法の実践力を高める。					
授業全体の内容の概要		評価の意義、目的、方法について学び、知識と技術の獲得を目指す。習得の際は知識、技術の両者を習熟できるように計画する。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		検査・測定の知識・技術を身につけることができる。 障害者を対象に検査を行う際の注意点を理解することができる。 検査・測定の意義の理解を深めることができる。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	オリエンテーション/高次脳機能障害について				
	2	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：記憶、記憶障害の評価 演習：三宅式記憶力検査				
	3	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：視空間知覚，視覚構造化、視覚記憶 ROCFT				
	4	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：日常記憶 演習：RBMT				
	5	演習	高次脳機能障害について（演習含む） 演習：RBMT				
	6	講義	高次脳機能障害について 講義：注意障害				
	7	講義	高次脳機能障害について 講義：注意障害				
	8	演習	高次脳機能障害について（演習含む） 演習：CAT				
	9	演習	高次脳機能障害について（演習含む） 演習：CAT				
	10	演習	高次脳機能障害について（演習含む） 演習：CAT				
	11	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：認知症。HDSR,MMSE				
	12	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：構成失行，知的能力，コース立方体テスト				
	13	講義	高次脳機能障害について講義：遂行機能障害				
	14	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：遂行機能障害 BADS				
	15	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：遂行機能障害 BADS				
	16	講義	高次脳機能障害について講義：半側空間無視				
	17	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：半側空間無視 演習：BIT				
	18	演習	高次脳機能障害について（演習含む）演習：BIT				
	19	講義	高次脳機能障害について 講義：知的能力 言語性知能				
	20	講義	高次脳機能障害について 講義：知的能力 視覚性知能				
	21	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：知的能力 演習：WAIS-Ⅲ				
	22	講義/演習	高次脳機能障害について（演習含む）講義：知的能力 演習：WAIS-Ⅲ				
	23	講義/演習	講義：高次脳機能障害について（演習含む）講義：前頭葉機能 演習：FAB				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験（有）・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		標準作業療法学：作業療法評価学（第4版）。適宜、資料も配布。					
評価方法		成績は講義、演習にて行った高次脳機能障害に関する筆記試験（100点満点）を、青山（50点分）、山本（50点分）で作成して実施。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名		作業療法実習Ⅱ			学科名		作業療法学科		講師名		岡 正敏			
時間数		45時間							実務経験の有無		作業療法士として回復期・生活期の医療機関で実務経験あり			
学年・学期配当		1 年次			2 年次		3 年次		前期		後期		通期	
目的・ねらい		作業に必要な道具の使用や作品制作を通して、作業活動の意味について学ぶ												
授業全体の内容の概要		実際の作品制作に加え、作業活動の目的や効果、意味について分析し、レポートを作成する												
授業修了時の達成課題（到達目標）		作業活動が人間の心身にどのように影響するかを考察できる												
指導計画	回	形態	内 容											
	1	演習	オリエンテーション											
	2	演習	刺し子：道具の名称と正しい使い方											
	3	演習	刺し子：コースター実践											
	4	演習	刺し子：コースター実践											
	5	演習	刺し子：コースター実践											
	6	演習	作業の目的と効果①											
	7	演習	作業の目的と効果②											
	8	演習	作業の目的と効果③											
	9	演習	作業の目的と効果④											
	10	演習	作業の目的と効果⑤											
	11	演習	レポート練習											
	12	演習	レポート練習											
	13	演習	レポート練習											
	14	演習	レポート練習											
	15	演習	レポート練習											
	16	演習	レポート練習											
	17	演習	レポート練習											
	18	演習	レポート練習											
	19	演習	レポート練習											
	20	演習	レポート練習											
	21	演習	レポート練習											
	22	講演	レポート練習											
	23	講演	レポート練習											
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。											
テキスト・参考図書等		必要に応じて資料を配布します。 内容は進行状況等により変更する場合があります。												
評価方法		レポートで総合的に評価する												

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法評価学Ⅰ （身体障害）		学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院、回復期病院等で実務経験あり
学年・学期配当			1 年次 2 年次 3 年次		前期 後期 通期	
目的・ねらい			作業療法実践にあたり必要となる評価法について基礎的な知識、技術を習得する。			
授業全体の 内容の概要			習得の際は知識、技術共習熟するよう計画する。疾患・症状を踏まえながら、生活を再建するために作業療法に必要な身体機能、日常生活活動、生活環境などの評価計画の立て方、評価結果の解釈を学習する。			
授業修了時の 達成課題 （到達目標）			作業療法実践において、適切な評価を選択、実施でき、得られた結果の解釈ができるようになる。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション、作業療法と評価、再評価と作業療法の効果判定			
	2	講義/演習	記録、報告の意義と特徴、面接法・観察法、血圧、反射			
	3	講義	摂食・嚥下機能検査、排泄機能評価			
	4	講義/演習	関節可動域測定について（上肢）			
	5	講義/演習	関節可動域測定について（上肢）			
	6	演習	関節可動域測定（上肢）（実践）①			
	7	演習	関節可動域測定（上肢）（実践）②			
	8	演習	関節可動域測定（上肢）（実践）③			
	9	講義/演習	関節可動域測定について（下肢）			
	10	講義/演習	関節可動域測定について（下肢）			
	11	演習	関節可動域測定（下肢）（実践）①			
	12	演習	関節可動域測定（下肢）（実践）②			
	13	演習	関節可動域測定（下肢）（実践）③			
	14	講義/演習	関節可動域測定について（体幹）			
	15	講義/演習	関節可動域測定について（体幹）			
	16	演習	関節可動域測定（体幹）（実践）①			
	17	演習	関節可動域測定（体幹）（実践）②			
	18	演習	関節可動域測定（体幹）（実践）③			
	19	講義/演習	関節可動域測定まとめ①			
	20	講義/演習	関節可動域測定まとめ②			
	21	講義	上肢機能検査について①			

指導計画	22	講義	上肢機能検査について②
	23	演習	上肢機能検査（実践）①
	24	演習	上肢機能検査（実践）②
	25	講義	日常生活活動の評価について①
	26	講義	日常生活活動の評価について②
	27	演習	日常生活活動の評価（実践）①
	28	演習	日常生活活動の評価（実践）②
	29	演習	日常生活活動の評価（実践）③
	30	講義	まとめ
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			①標準作業療法学：作業療法評価学 ②PT・OTのための測定評価 ROM測定 ③日常生活活動学（ADL）適宜、資料を配布します。 関節可動域測定実技時の服装は実習着、ゴニオメーター、バスタオルを持参してください。 毎回、事前に指示をした箇所のweb動画を必ず視聴して臨んで下さい。実技試験の日程は別途指示します。
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失います。 成績評価は、試験をもって判定する。成績は座学講義分の筆記試験（70点分）と関節可動域測定の実技試験（30点分）で算定します。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法評価学Ⅱ (精神障害)			学科名	作業療法学科	講師名	岡 正敏
時間数	30時間					実務経験の有無	作業療法士として回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期		
目的・ねらい		精神科作業療法を実践するための、基礎的な評価から応用的な評価まで実施し、実習や現場でどのようなことを注意しながら対応するかを学ぶ					
授業全体の内容の概要		精神科作業療法における面接・評価技法を講義、実践を交えて行う					
授業修了時の達成課題 (到達目標)		精神科作業療法に必要な評価を判断・実践できるようになる					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	精神科作業療法評価の基礎①				
	2	講義	精神科作業療法評価の基礎②				
	3	講義	面接技法				
	4	講義	精神機能評価検査法（LASMI、Rehab）				
	5	講義	精神機能評価検査法（GAF、BACS日本語版）				
	6	講義	精神機能評価検査法（ロールシャッハ検査、HTP、バウムテスト、家族描画法）				
	7	演習	評価の実践①				
	8	演習	評価の実践②				
	9	演習	症例1検討 グループワーク①				
	10	演習	症例1検討 グループワーク②				
	11	演習	症例2検討 グループワーク①				
	12	演習	症例2検討 グループワーク②				
	13	演習	症例3検討 グループワーク①				
	14	演習	症例3検討 グループワーク②				
	15	講義	まとめ				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		適宜資料を配布します。					
評価方法		演習内容、終講試験の結果などで総合的に判断します					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法評価学Ⅲ (発達障害)		学科名	作業療法学科	講師名	二反田 はな子
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として介護保険施設事業所にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		小児・発達障害領域における作業療法の理念や役割を知ること。また、小児特有の評価方法の種類と選定方法について学ぶ。				
授業全体の 内容の概要		小児の正常発達、原始反射について概説する。 また、情報収集や評価（面接・監察・検査測定）について、作業療法における視点から実践するための知識を身に付ける。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		1. 正常発達が理解できる 2. 作業療法における情報収集と評価について概説できる				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	発達障害領域の作業療法			
	2	講義・実践	正常発達と原始反射①			
	3	講義・実践	正常発達と原始反射②			
	4	講義	子どもの発達と作業療法①			
	5	講義	子どもの発達と作業療法②			
	6	講義	子どもの発達と作業療法③			
	7	講義	発達障害領域の評価①			
	8	講義	発達障害領域の評価②			
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ ・ 無し しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		作業療法学ゴールドマスターテキスト第3版発達障害作業療法学：メジカルビュー社				
評価方法		試験65％ レポート課題25％ 出席・授業態度10％				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	社会保障制度論		学科名	作業療法学科	講師名	福場 典子
時間数	15時間				実務経験の有無	障がい者支援施設支援業務 介護福祉士並びに社会福祉士養成施設の専任教員業務
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		医療・福祉サービスは、主となる介護保険法以外の法律によるサービスもある。関連法規について解説をおこない、サービスの法的根拠を学習する。				
授業全体の内容の概要		毎回、テーマとなる資料を配布し、授業をおこなう。理学療法士並びに作業療法士国家試験過去問から本授業に関連する内容を提示することも盛り込む。また、DVDを活用する。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		介護保険法以外の関連法を知ることができる。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	ガイダンス・社会保障制度総論			
	2	講義	児童福祉法			
	3	講義	身体障害者福祉法			
	4	講義	知的障害者福祉法			
	5	講義	発達障害者支援法			
	6	講義	障害者総合支援法			
	7	講義	障害者雇用促進法			
	8	講義	老人福祉法（介護保険制度も含む）			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		参考図書 介護福祉士国家試験ナビ 社会福祉士国家試験ナビ DVD				
評価方法		理学療法学科並びに作業療法学科付則及び試験内規による。 評価基準：試験点80%、出席10%、提出物など10% で評価する。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	地域作業療法学Ⅰ		学科名	作業療学科	講師名	大瀬戸 亮平
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期の高齢者施設にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		在宅生活を営む障害者の生活を理解し、地域で安心して暮らせる生活の自立支援を図る				
授業全体の内容の概要		地域作業療法における概要及び必要な知識について学ぶ				
授業修了時の達成課題（到達目標）		地域作業療法における医療・福祉専門職に必要な知識・連携方法を習得する				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	地域の生活と地域作業療法			
	2	講義	地域の生活と地域作業療法			
	3	講義	社会保障制度			
	4	講義	社会保障制度			
	5	講義	介護保険制度の概要・介護報酬の算定と業務			
	6	講義	介護保険制度の概要・介護報酬の算定と業務			
	7	講義	各事業所の実践 民間企業			
	8	講義	発展する作業療法の地域支援 予防①			
	9	講義	発展する作業療法の地域支援 予防②			
	10	講義	発展する作業療法の地域支援 被災地支援①			
	11	講義	発展する作業療法の地域支援 被災地支援②			
	12	講義	発展する作業療法の地域支援 ICTとロボット技術			
	13	講義	ストレングスアセスメント			
	14	講義	ストレングスアセスメント			
	15	講義	福祉用具			
	16	講義	福祉用具			
	17	講義	福祉用具			
	18	講義	福祉用具			
	19	演習	福祉用具			
	20	演習	福祉用具			
	21	講義	住環境整備			

指導計画	22	講義	住環境整備
	23	講義	住環境整備
	24	講義	住環境整備
	25	講義	地域作業療法に必要な知識
	26	講義	地域作業療法に必要な知識
	27	講義	地域作業療法に必要な知識
	28	講義	事例集
	29	講義	まとめ
	30	講義	テスト対策
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			参考文献 作業療法学ゴールドマスターテキスト地域作業療法学改訂第2版：長崎重信監修・徳永千尋編集
評価方法			授業の進捗状況や必要に応じて、校外学習も含めて授業内容を一部変更する場合があります。ご了承ください。 筆記試験の点数に加え、出席状況、授業態度や意欲等も評価に加味します。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	地域作業療法学Ⅱ		学科名	作業療法学科	講師名	大瀬戸 亮平
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期の高齢者施設にて実務経験あり
学年・学期配当			1年次 2年次 3年次		前期 後期 通期	
目的・ねらい			地域で行われる実際の支援内容を理解する			
授業全体の内容の概要			MTDLPや地域ケア会議など、実際の場面を評価・実践			
授業修了時の達成課題（到達目標）			地域作業療法の基本を理解し、実践で活かせる技能を身につける			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	車椅子体験			
	2	演習	車椅子体験			
	3	講義	MTDLP			
	4	演習	MTDLP			
	5	演習	MTDLP			
	6	演習	MTDLP			
	7	演習	MTDLP			
	8	演習	MTDLP			
	9	講義	地域も含めた医療福祉支援職としての接遇			
	10	講義	地域も含めた医療福祉支援職としての接遇			
	11	講義	地域作業療法の実践			
	12	演習	地域作業療法の実践			
	13	演習	地域作業療法の実践			
	14	演習	地域作業療法の実践			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			参考文献 作業療法学ゴールドマスターテキスト地域作業療法学改訂第2版：長崎重信監修、徳永千尋編集			
評価方法			授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合があります。ご了承ください。 筆記試験の点数に加え、出席状況、授業態度や意欲等も評価に加味します。			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	地域作業療法実習			学科名	作業療法学科	講師名	梶原 宣志
時間数	45時間					実務経験の有無	作業療法士として生活期医療機関等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次	2 年次	3 年次	前期	後期	通期
目的・ねらい		地域作業療法という漠然としたテーマに対し、事業別により具体的に理解をし、事例を通じて退院後等の地域展開力を身につける。					
授業全体の内容の概要		様々な地域の特性や状況、サービスや支援など、具体的な対象者を背景に座学・グループワークを通じて学習していく。また、さまざまな分野で活躍する作業療法士の専門性に関する奥深さ、裾の広さについても学び、将来にわたって、さまざまな分野で活動ができるよう視野を広める。					
授業修了時の達成課題(到達目標)		作業療法士が地域の中で作業療法という視点をもってどのように関わられるか、どういうふうに関わり合いを組んで考えていったらよいか、柔軟な思考力を身につける。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	地域と作業療法について				
	2	講義	地域と作業療法について				
	3	講義	通所リハビリテーションでの作業療法の展開について				
	4	講義	介護老人保健施設について				
	5	講義	介護老人福祉施設について				
	6	講義	特定施設入居者生活介護・介護予防事業について				
	7	講義	児童発達支援・放課後デイサービス				
	8	講義	特別支援について				
	9	講義	障害者対応型グループホーム・作業所について				
	10	講義	就労移行支援・就労定着支援について				
	11	講義	精神障害領域の地域作業療法について				
	12	講義	認知症グループホーム・看護多機能型居宅介護支援について				
	13	講義	認知症の理解				
	14	講義	認知症の理解				
	15	演習	地域課題調査実習・説明(グループワーク)				
	16	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	17	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	18	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	19	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	20	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	21	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	22	演習	地域課題調査実習(グループワーク)				
	23	演習	地域課題調査実習発表(グループワーク)				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 (有)・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		地域作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト メジカルビュー社					
評価方法		筆記試験並びに地域課題調査実習取り組み状況・発表					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	臨床実習Ⅱ (評価実習)			学科名	作業療法学科	講師名	河本敦史/青山信一 溝畑美香/山本剛裕
時間数	135時間					実務経験の有無	作業療法士として身体障害、精神障害、老年期障害領域の病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次		前期	後期 通期
目的・ねらい		適切な検査・測定項目の選定と実施ができるようになる					
授業全体の 内容の概要		臨床実習指導者の監視の下、実際の症例に対して適切な作業療法評価を行う					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		①実習前に設定した自己目標、課題を達成できる。②対象者が持つ疾患の基本特性と治療方針について説明できる。③疾患や障害に対して、適切な検査・測定手技を選択できる。④対象者に検査・測定手技の目的・意義を説明、適切に手技を実行、結果を説明できる。⑤基本的な動作の介助ができる。⑥検査・測定結果を基に、症例の障害像を説明できる。⑦統合と解釈を通して、適切な目標設定と治療計画を立案できる					
指導計画	回	形態	内 容				
	1~68	実習	評価実習				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
	テキスト・参考図書等		テキスト：これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド（金芳堂） 参考図書：PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド（医学書院） 諸注意は配布する「臨床実習の手引き」を参照				
評価方法		実習指導者の評価と出席状況、実習後に課す課題の提出と内容等によって総合的に判断する					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）